

令和4年度 地域生活支援拠点の実績等について

資料2
令和5年2月20日
上越市福祉課

1 地域生活支援拠点 相談・受入実績 (R4年4月～12月)

①相談(直接)

○相談対象

主な障害種別	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	難病等	その他	合計
実人数	3	0	8	9	3	0	0	3	26
うち医療的ケアが必要	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち強度行動障害	0	0	1	0	0	0	0	0	1
サービス利用につながっていない障害児・者	0	0	2	4	1	0	0	3	10

○相談経路(主たる相談者)

相談経路	本人	家族等	関係機関	その他	合計
延べ件数	1	10	15	0	26

○相談方法

相談方法	電話	来所	文書	訪問	電子メール	その他	合計
延べ件数	25	2	0	6	4	4	41

○相談内容(複数可)

カテゴリ	件数	カテゴリ	件数
福祉サービス利用等に関する事	18	生活技術に関する事	0
障害や症状の理解に関する事	5	就労に関する事	0
健康・医療に関する事	8	社会参加・余暇活動に関する事	0
不安の解消・情緒の安定に関する事	4	権利擁護に関する事	1
保育・教育に関する事	3	介護方法や介護の悩み	1
家族関係・人間関係に関する事	10	拠点利用に関する事	1
生活技術に関する事	2	その他	1
合計			54

○支援方法

支援方法	訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関への連絡	その他	合計
延べ件数	9	2	0	28	4	2	10	3	58
うち他拠点と連携して実施	0	0	0	0	0	0	1	0	1

②相談(間接)【機能強化事業関連】

○相談対象

主な障害種別	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	難病等	その他	合計
実人数	7	1	16	12	5	0	0	5	46
うち医療的ケアが必要	0	1	0	0	0	0	0	0	1
うち強度行動障害	0	0	5	0	0	0	0	0	5
サービス利用につながっていない障害児・者	3	0	0	3	2	0	0	2	10

○相談者

相談者	相談支援事業所	地域包括支援センター	行政	その他	合計
延べ件数	29	7	2	9	47

○相談内容(複数可)

カテゴリ	件数	カテゴリ	件数
福祉サービス利用等に関する事	47	生活技術に関する事	7
障害や症状の理解に関する事	12	就労に関する事	12
健康・医療に関する事	12	社会参加・余暇活動に関する事	2
不安の解消・情緒の安定に関する事	5	権利擁護に関する事	6
保育・教育に関する事	0	介護方法や介護の悩み	5
家族関係・人間関係に関する事	19	拠点利用に関する事	4
生活技術に関する事	6	その他	1
合計			138

○支援方法

支援方法	訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関への連絡	その他	合計
延べ件数	4	8	4	39	17	10	2	3	87

③緊急時の受入

○受入方法

実人数	SS	その他	合計
	14	1	15

※その他1は受入れに至らなかった事例

○受入事由

延べ件数	介護者の緊急	虐待(疑い含む)	家族関係調整	その他	合計
	6	0	4	4	14

④体験の機会

実人数	GH	通所	その他	合計
	1	6	0	7

2 地域生活支援拠点 人材育成・地域づくり等の取組 (R4年4月～12月)

① 事例検討会

毎月1回実施 1時間半程度 参加者：相談支援事業所及び地域包括支援センター

日程	事例提供	全体進行	参加者数
4月27日(水)	上越障害者相談支援事業所 異性問題を抱えるサービス利用も不安定なケース	かなや	33
5月25日(水)	障害児(者)相談支援センターかなや 男子高校生のケース	さくら	35
6月22日(水)	相談センターさくら 気分によって活動参加が難しいケース	つくしセンター	27
7月27日(水)	コロナ拡大で中止		
8月24日(水)	つくしセンター 精神科への入退院を繰り返すケース	夕映えの郷	26
9月28日(水)	夕映えの郷 高次脳機能障害のケース	みんなでいきる	18
10月26日(水)	みんなでいきる相談センター 介護保険移行のケース	おおすぎ	26
11月22日(水)	相談支援事業所サポートおおすぎ 多問題家族の児童ケース	WITH	20
12月21日(水)	相談支援センターWITH 家庭でのかわりに課題のあるケース	センター病院	22

② 障害福祉サービス事業所等職員研修会

全体テーマ：ふくしを一緒に考えませんか

対象者：市内障害福祉サービス事業所 3年未満職員

開催日時	テーマ・内容等	会場	申込数
第1回 10/17(月) 14:00-17:30	ふくしを一緒に考えませんか① ～語ろう、知ろう、日頃の思いや仕事の魅力～ ①福祉サービスや上越市の事業所について紹介 ②個人ワーク及びグループワーク 通常の業務で感じていること等(やりがい、葛藤など)を振り返り、参加者と共有	市民交流施設 高田城址公園 オーレンブラ ザ 研修・会 議室	25
第2回 12/20(火) 14:00-17:30	ふくしを一緒に考えませんか② ～専門職として自分たちができることを一緒に考えよう～ ①利用者中心支援や意思決定支援について考える 講義と事例提供 ②実践者の話題提供(就労系事業所の管理者)、意見交換		

③ その他

・地域包括支援センター研修会の講師担当、地域包括支援センター事例検討会への参加

3 地域生活支援拠点の取組の中で把握した地域課題

- 相談支援専門員の研修受講が実際の業務につながりにくい(相談支援専門員の減少傾向)。
- 事業所における現場職員が不足している。働き方改革等による夜勤が可能な職員が減少している。
- 障害児については、保護者支援や家族全体支援の必要性が高いが、支援体制が十分とはいえない。
- 学校との連携、学校側の障害理解が十分とはいえない。
- 相談支援体制についての課題
 - ・相談支援専門員と自立支援協議会との関わりが薄く、地域課題の概念が醸成されにくい。
 - ・相談窓口が多く存在する分、サービス調整がないケースの管理をどこが行うか曖昧。
 - ・障害児の相談窓口が曖昧。